

古代・多摩丘陵の 竪穴建物

奈良・平安時代の多摩丘陵では、多摩ニュータウン遺跡をはじめ多くの遺跡がみつかり、当時の人々の暮らしがわかっています。須恵器や瓦を焼く窯跡と、その周囲に広がる集落跡からは、多摩川をはさんだ武蔵国府・国分寺へ向けて、丘陵の豊かな資源を生かしたさまざまな生産が行われていたことがうかがえます。それらの竪穴建物や出土遺物を通して、古代の暮らしを探ってみましょう。

2026年

日時

2月7日(土)

13:30-15:30

講師

宮下 孝優

(東京都埋蔵文化財センター)

会場

東京都立埋蔵文化財調査センター

定員

90名 ※要事前申込。応募者多数の場合、抽選

参加費

無料

Pit Dwellings of Tama Hills

Nara-Heian Period

申込方法

1月22日(木) 必着

【Web 申込】

当センターホームページの「イベント・教室」から「調査研究員講演会 (3)」を開き、申込フォームよりお申込みください。右のQRコードからもアクセス可能です。



【往復はがき】

往信面に、行事名・住所・電話番号・氏名(ふりがな)、返信面に住所・氏名を明記の上、下記までご郵送ください。
〒206-0033 東京都多摩市落合 1-14-2
東京都埋蔵文化財センター「調査研究員講演会 (3)」宛

【お問い合わせ】

東京都埋蔵文化財センター
〒206-0033 東京都多摩市落合 1-14-2
電話 042-373-5296 広報学芸担当 (平日のみ 9:00 - 17:00)
<https://www.tomaibun.jp/>

※発熱や風邪の症状など体調がすぐれない方は来館をお控えください。
※諸事情によりイベントが急遽延期または中止となる場合がございます。その際は当センターウェブサイト等によりお知らせいたします。
※記録・広報活動への利用のため、イベントの様態を撮影いたします。撮影した写真の公開時には、ぼかし処理など顔が判別できなくする適宜の処理を行います。ご承知おきの上、お申し込みください。

